

一緒に高知の「暮らし」のこと

いえとにみ

2022.12

No.6

FUTAGAMI

TAKE FREE

【講師紹介】

いな がきのりとし
稲垣典年さん

高知県立牧野植物園
アドバイザー

(株)フタガミ 顧問



室戸市出身。かつて牧野富太郎もいた小石川植物園に勤務後、1970年4月より52年間、高知県立牧野植物園に勤めて園の方向性の原型をつくる。定年後の現在は、アドバイザーとして月に数回植物園で植物観察ガイドなどを続けている。



野生のサザンカ

見頃：10月～お正月頃

家の防風林や生垣として植えられているものや、元から自生していたと推測される木があります。

牧野植物園の生き字引と言われる稲垣さんにこの冬探してみたい真つ白なサザンカを教えてくださいました。
牧野富太郎も訪れた三原村まで足を延ばしてみませんか？

野生のサザンカを探す

こうちの植物 訪ね歩き ～三原村編～



花は何色？

サザンカの花の色は何色がご存じでしょうか？赤と言われる方も多いですが、品種改良をしていない野生のサザンカは真つ白な美しい花を咲かせます。葉は小ぶり。花が散るときに花びらをハラハラと地面に散らす様も、ぽとりと花が丸ごと落ちるツバキに比べて上品に感じます。

その白い野生のサザンカは、県内では高知市から西部で見られます。見やすい所は、高知城の裾野の藤並公園や窪川から西の海岸沿い、足摺スカイラインの両側でしょうか。

三原村の巨木

中でも、三原村の巨木は見ごたえがあります。一番立派なサザンカの高さは10メートルを超し、幹は大人二人で抱えるほどです。村内には20本ほどの巨木を見ることが出来ます。個人の方のお庭や裏山にありますが、車から眺めることができます。

牧野富太郎も歩いた道

この三原村は、牧野富太郎が若かりし頃、植物採集に訪れた場所です。青年・富太郎は、日本の植物研究を世界水準にまで高めるためには日本の植物を明らかにしなければならぬと、手始めに「土佐植物目録」の作成に取り掛かりました。三度に渡り幡多地方へ植物採集の旅に出かけ、三原村には明治22（1889）年、27歳の時に来て3日間滞在しています。

滞在中は、多くの植物を採取すると共に、大好物のウナギ料理を堪能したことなどさまざまなエピソードが、『岩本嘉弥太植物採集旅行記』に残されています。

『OUEN SPACE』で家族に出会う うちの家族を紹介します！

この人に会いたい！
イエローハット土佐店 副店長

いつもをもしもに ペットの防災

こうちの植物 訪ね歩き ～三原村編～
野生のサザンカを探す



サステナブルな暮らしのお手伝い —— お近くの店舗へご相談ください ——

いえのこと にわのこと

FUTAGAMI
HOME & GARDEN

MARUNI
GARDEN

84
ガーデン
デザイン

COMO
Life style shop & Dining

ASSIST

OU
EN SPACE

くらまのこと

Yellow Hat

くらしのこと

ホームセンター
マルエ

Hamart

ホームセンター
プラコ

花井

FDL
FUTAGAMI
DIY LAB

DAISO
ダイソー

IKEDAYA
パラス施設新館の借出館

Kōba
フタガミ本社

発行／株式会社フタガミ 〒783-0055 高知県南国市双葉台1
発行日／2022年12月 制作・編集／クリケット「季刊高知」編集部

株式会社フタガミ 検索



Web



Facebook



Instagram



『OUEN SPACE』で家族に出会う



「動物と人が幸せに暮らせる社会に」

いついとも多くの命を救いたい

フタガミのペット事業である「アシスト南国」は、2021年12月に犬や猫の展示販売を中止する決断をしました。そして、2022年3月より、ご縁をつなぐ場所として、譲渡会を常時ひらける店内スペース「OUENスペース」を設け、動物保護団体に無償提供しています。

現在、毎日開催される譲渡会で、愛らしい猫や犬たちが新しい家族との出会いを待っています。

保護活動の現状

保護団体の活動は、基本、保護して新しい飼い主を探すこと。

その背景には、多くのボランティア・スタッフ、医療機関、寄付をして下さる方々など、様々な人達の協力があり、活動が成り立っています。しかし、保護をしたり里親になれる数にも限界はあります。

そのため、野良猫の繁殖を防ぐ、TNR（捕獲後に不妊・去勢手術をし、元の場所にもどすこと）という手段も取られています。

CASE 2

「なまえのない猫」さんに聞く
野良猫の繁殖を防ぐ活動

なぜ、TNR活動を？

繁殖力の強い猫の場合、繁殖し過ぎたがゆえの野良猫の不幸な死が増えています。TNRで繁殖を防ぐことで、野良のままでその猫の一生を全うする可能性を広げられるということを理解してもらえたら嬉しいです。

TNRした証として耳をカットしている猫は、野良でも特に誰かがそうやってお世話してくれている猫だということで、見守ってもらえたら嬉しいです。

——TNRの現状は？

2021年は500頭弱にTNRを行いました。非営利団体の私たちが全額負担をすることは難しいので、皆様からいただいたご支援や、獣医師会の先生方に助けていただいたり、助成金を使わせてもらっています。費用を出せる方にはお願いをしています。

また、捕獲・保護した猫は健康状態が悪い子が多いので、「こ、アシスト南国に出張診療もされている、木村どうぶつ病院の先生方はじめ、迅速な治療にいつも多大なご協力をいただいています。」

現在、OUENスペースに入っている2つの動物保護団体の代表にお話を伺いました。

CASE 1

「アニマルサポート高知家」さんに聞く
シルバーの方にもできる
「預かりボランティア」

——どのようなボランティアの方がいるのでしょうか？

乳飲み子のミルクボランティアを含む一時預かりがメインで、20〜30名います。それから散歩だけの方、譲渡会イベントの開催手伝いだけの方など総勢60名ほどが、別に本業の仕事をしながら、それぞれが空いた時間にできる活動をしています。

私たちは、みんなで関わり一緒に協力をして命を繋げようというスタンスで、できる人ができるボランティアを担って活動をしています。

——年齢に制限はありますか？

65歳以上の方は一緒に暮らしたいという気持ちはあっても、年齢で譲渡を断られることが多いですが、預かりボランティアであれば

—— 私たちにできることは？

経験上、庭に来ている猫に「ご飯をあげていたら繁殖してしまった」というお家が多いので、野良猫にえさをあげる場合は一緒に不妊・去勢手術も考えていただきたいです。助成金も利用できますので、わからないことがあれば、OUENスペースに来ていただけたら具体的なアドバイスもできます。

また、これだけTNRしなければいけない背景には、飼い猫にも不妊・去勢手術を出来ていない現状があります。飼っている猫に対しても、きちんと対処していただきたいです。

動物たちの里親になる他にも、命を救うために、私たちができることはたくさんあります。まず、OUENスペースに足を運んでみませんか？

『OUEN SPACE』毎日譲渡会

11:00～16:00

南国市篠原114
アシスト南国内
OUEN SPACE



Web

※曜日により、猫だけの場合がございます。
※保護団体へのご寄付や支援品は、譲渡会時にOUENスペースへお持ちいただけるか、各団体へ直接お問合せ下さい。



なまえのない猫
代表／香川 智美さん

【活動内容】

- ①野良猫の不妊・去勢手術（TNR）
- ②譲渡会の開催、里親探し
- ③TNRのお手伝い
- ④犬・猫の相談ごとと解決へのアドバイス



Facebook



認定NPO法人
アニマルサポート高知家
理事長／吉本 由美さん

【活動内容】

- ①譲渡会の開催、里親探し
- ②野良猫の不妊・去勢手術（TNR）
- ③多頭飼育崩壊から生活再建のサポート
- ④犬・猫の相談ごとと解決へのアドバイス



Web

—— 私たちにできることは？

譲渡会には遊びに来る感覚でいいので、まず、触れ合いに訪れてもらいたいですね。

犬猫に関わらず人間以外の生き物に対して、同じ命だという気持ちを持つためには、やはり生活を共にすることが大事ではないかと思っています。子どもさんがいる方には、ぜひ、小さい時から動物と一緒に生活させて関わらせてあげてほしいです。

動物がそばにいたら、皆やはり癒されると思います。

写真：アシスト南国OUEN SPACE



アシスト南国のO.U.E.Nスペースで開かれていた譲渡会で、愛くるしい兄妹の子猫に出会った薦田さん一家。1匹だけ引き取るつもりでいたところ、保護団体の『なまえのない猫』さんから、「この子たちは離すと、もう1匹がすぐ泣いちゃう」と聞いて、寂しくさせるのはかわいそうだと、2匹と一緒に生活することをすぐに決めました。

トライアル期間、家に来た子猫たちは、年齢の近い先住子猫のハナともすんなり仲良しに。夫の博志さんは、「保護猫を迎えることはごく自然な選択肢でした。保護猫の場合、預かりの方々がしっかり育ててくれているので、あらかじめ、猫の性格や食べ物の好みなども教えてもらえるところがよかったです。また、トライアル期間があることで、家の環境や、家族、先住猫に馴染めるかどうかの見極めもできたので、正式に迎えることに不安はありませんでした」といいます。

今は家の中がいつも賑やかな大家族に。妻の春香さんは手のかかる子どもがたくさんいるみたいと、笑顔で家族を見守っています。

博志さんは、猫たちになんとも優しい声で話しかけるとか。「猫は言葉を理解できないので、感情で伝えてあげることが必要ですよ」と照れ笑い。「すりすり甘えてくれる時間が好き」と長女・えまちゃんと言えば、「走ったりいっしょに遊んでくれるところがいい」と次女・のあちゃん。3匹の猫たちの話が絶えない薦田家でした。



「猫に遊んでもらうほうだね?」と言われたけれど、やさしくムギを包むのあちゃん。



うちの家族を紹介します!

ずっと一緒に暮らせる居場所を見つけた動物たち。家族の一員として、自然体で人と暮らす猫と犬をご紹介します。



こもだ 薦田家

先住猫／ハナ推定1歳♂
保護猫／ゴマ推定4カ月♀
ムギ推定4カ月♀

ご夫婦ともに子どもの頃から動物好き。娘2人は生まれた時から猫がいる生活が当たり前。先住猫のハナは、一年前、道で車におびえながら走っていたところを保護し、家族に迎え入れた。ペットショップで猫を買った経験もあるが、増えている野良猫が気にかかっている。



安藤家

先住犬／アンズ推定6、7歳♀
保護犬／カリン推定4歳♀

犬好き3世代家族。夫妻は以前、ブリーダーから買った犬を14年育てて看取る。当時、通っていた動物病院の紹介を通じて、噛みぐせのため殺処分対象になっていたアンズに出会う。以降、長女の咲菜さんも保護犬の活動に興味を持つように。



実は、先住犬のアンズは、コーギー好きな妻の有里さんが、噛みぐせがあっても大丈夫」と引き取ったものの、当初は家族6人全員が噛まれてしまったといいます。大変な思いをしながらも、「引き取ったからには、絶対返さない。どうにかして一緒に暮らせるようになりたい!」そんな揺るがぬ強い思いで飼っている。4年が経つ頃、O.U.E.Nスペースで開かれていた『アニマルサポート高知家』さんの譲渡会を通じて、カリンを家に迎えました。

犬同士でも仲良くなれない先住犬アンズ。ドキドキのトライアルでした。距離を保ちながら2匹をちよつとずつ慣らしてみると、意外にも!大丈夫そうな様子。これはもう、奇跡的な出会いだと感じ、正式に譲渡してもらうことに。

カリンが家族になって落ち着いてくると、噛みぐせのあったアンズにも変化がありました。甘え上手で人懐っこいカリンの影響で、これまでアンズに触れなかったおばあちゃんが触れるようになったのです。

人間との関係も犬同士もほどよい距離を見定めながら、家族は互いの生活を大切にしています。

「アンズを迎えた時もカリンを迎えた時も、緊張がほどけて、表情が徐々に柔らかくなっていくのを見ると嬉しい気持ちになりました。体全体で安心を表してくれていると迎えてよかったな」と思います。2匹を囲んで家族みんなが優しく微笑んでいました。



カリン(左)は次男の隼くんが好き。散歩途中に学校帰りの隼くんを見つけると大喜びです。

「いつもの備えがもしもに役立つ」防災を意識してみませんか？

いつもをもしもに ペットの防災

災害はいつ起こるかわかりません。

いざという時に、ペットの身を守るのは飼い主さんだけです。まず自分自身の身を守ること。そして、ペットや避難先等の周りの人たちにも、なるべくストレスがかからないよう、日ごろからの備えをしておきたいものです。

ストレス軽減にも
慣れたものを



食べ物は普段食べ慣れている食材が入った、長期保存できる缶詰やパウチなどを用意しておくといでしょう。水と食料は最低でも5日分は準備しておき、無駄のないよう、ローリングストック法で対応を。また持病がある場合、薬も必ず用意し、最低でも一週間は耐えられるようにしておくことをお勧めします。

身元がわかるものを



慣れない災害時、飼い主はパニックになりますが、それ以上にペットもパニックになり、思いもよらない行動をとる可能性があります。そのため、離れ離れになっても見つけ出せるよう、迷子札やマイクロチップの装着なども考慮しておきましょう。また、飼い主側も、避難グッズの中に連絡先を書いたペットの写真を入れておくことで安心です。

最低限の
しつけをしておく



避難所や知人宅に一時的に預けることになった場合、他の人に迷惑がかからないよう、日ごろからの基本的なしつけ（ハウス、むやみに吠えない、おいで、待て）が必要です。特に、「おいで」と「待て」はパニックになった動物の逃走や交通事故の防止にも役立ちます。日常から訓練しておきましょう。

動物たちは自分で準備することができません。

飼い主さんが、日頃しっかりとした備えをし、災害発生時には落ち着いて行動することが大切です。まず災害に対する心構えを家族で話しあってみましょう。



【イエローハット土佐店 副店長】 小松 翼 (28) 勤続9年

この人に会いたい！

中堅スタッフをまとめる熱いハートの副店長に迫ります！

Q 入社のきっかけは？

A 元々、ホームセンターが好きで祖父とよく地元のマルニ安芸店へ通っていたのですが、高校2年生の時に自転車のパンク相談に行った際、親切にしてくれる、自分も人に寄り添えるような人になりたいと思いました。

Q 専門知識はどうやって身に付けましたか？

A 初めの一カ月研修でライトの種類など車の基礎から学びましたが、新人のうち僕が一番不器用だったため、店舗で店長とのマンツーマンの実地指導を受けることに。5年後、主任に抜擢されるまでは、周りのメンバーや家族に支えられながら、がむしゃらにピットでのタイヤ交換作業や車検の軽整備、接客をこなしてきました。

Q 副店長として意識することは？

A 一人一人がやりがい高め

られるよう、活気ある雰囲気作りを心がけています。

また、一致団結して目標に向かっていくには、日頃の僕の言動や立ち居振る舞いが重要だと思いうので、普段から少しでも気が付いたことがあれば積極的に行動しています。

Q 嬉しかったことは？

A 以前、僕がタイヤ交換を接客担当した高年齢の女性のお客様が、すごく遠方にお住まい

で、近所に他のカー用品店や工場があるにも関わらず、わざわざ僕を訪ねて来てくれて、再びタイヤ交換をタイヤ選びから全てお任せで依頼してくれたことです。

Q 目指しているのは？

A 今は、店長になることです。プライベートでは、中古でもいいのでマイホームを購入して親の近くにいてあげたいと思います。



趣味／体を動かすこと、夜間ドライブ
自己分析／熱血。何事にも臆せず挑戦！
同僚の声／老若男女、誰からも好かれる誠実さ。裏表がない。人柄の良さが覗く笑顔に、つい耳を傾けてしまう。
座右の銘／連携
得意料理／豚キムチ、なめこ汁、納豆チャーハン
特技／ちょこっと雑学、ポジティブなところ

ここに行けば会える！ イエローハット土佐店
土佐市高岡町乙2336-1 ☎ 088-852-7600